平成23年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月９日

上 場 会 社 名　　チヨダウーテ株式会社　　上場取引所　大
コ ー ド 番 号　　5387　　URL　http://www.chiyoda-ute.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）平田 晴久
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）三輪 周美　　TEL 059(364)5215
四半期報告書提出予定日　　平成22年11月11日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1.　平成23年３月期第２四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年９月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第２四半期	12,182	0.7	△670	－	△801	－	△926	－
22年３月期第２四半期	12,095	△20.5	△549	－	△658	－	△452	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年３月期第２四半期	△65.　72	－
22年３月期第２四半期	△35.　06	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年３月期第２四半期	32,182	10,569	32.8	749.　46
22年３月期	32,705	11,619	35.5	823.　98

（参考）　自己資本　　23年３月期第２四半期　　10,569百万円　　22年３月期　　11,619百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年３月期	－	0.　00	－	5.　00	5.　00
23年３月期	－	0.　00			
23年３月期(予想)			－	3.　00	3.　00

（注）当四半期における配当予想の修正有無　：　無

3.　平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	26,121	3.1	40	－	△261	－	△398	－	△28.　26

（注）当四半期における業績予想の修正有無　：　無

4.　その他（詳細は【添付資料】４ページ「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　　：　無

新規　ー社、除外　ー社

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

②　①以外の変更　　：　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年３月期２Ｑ	14,120,000株	22年３月期	14,120,000株
②　期末自己株式数	23年３月期２Ｑ	17,834株	22年３月期	17,834株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年３月期２Ｑ	14,102,166株	22年３月期２Ｑ	12,892,166株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】３ページ「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
2. その他の情報 …… 4
(1) 重要な子会社の異動の概要 …… 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
3. 四半期連結財務諸表 …… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書 …… 7
【第２四半期連結累計期間】…… 7
【第２四半期連結会計期間】…… 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 11
(5) セグメント情報 …… 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策効果などを反映して一部に景気の持ち直しの兆しがみられるものの、海外経済の減速・急激な円高の進展や依然として続く厳しい所得・雇用情勢を背景に、不透明な状況が続くものと思われます。

住宅市場におきましては、住宅版エコポイント制度、金利優遇策などの政策効果から持ち直しつつあり、平成22年度第２四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は407千戸（前年同四半期比6.2%増）となりました。

石膏ボード業界におきましては、平成22年度第２四半期連結累計期間における製品出荷数量が209百万㎡（前年同四半期比1.8%減）と厳しい状況でありますが、平成22年8月より対前年同月比が増加に転じております。

当グループにおきましては、このような厳しい需要・収益環境のなか、製品加工の集約化・効率化・内製化等による変動費の圧縮に取組むとともに、販管費や製造経費の固定費削減を推し進め、収益の確保に全力で努めております。

この結果、当グループの当第２四半期連結累計期間における業績は、新たに子会社が製造を始めた建材（ケイ酸カルシウム板）の取扱いを開始したことに伴い売上高は増加したものの、販売価格の修正の時期が遅れたことにより、売上高は121億82百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。生産数量の低迷、メンテナンス費用、減価償却費の負担等により営業損失は６億70百万円（前年同四半期は営業損失５億49百万円）、支払利息の計上などにより経常損失は８億１百万円（前年同四半期は経常損失６億58百万円）、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失を計上したことなどにより、四半期純損失は９億26百万円（前年同四半期は四半期純損失４億52百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

（資産）

資産合計は、321億82百万円（前連結会計年度末比５億23百万円減）となりました。

流動資産の減少（前連結会計年度末比２億84百万円減）は、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比１億88百万円減）が主な要因であります。

固定資産の減少（前連結会計年度末比２億35百万円減）は、建物及び構築物の増加（前連結会計年度末比１億12百万円増）、機械装置及び運搬具の減少（前連結会計年度末比３億85百万円減）が主な要因であります。

（負債）

負債合計は、216億13百万円（前連結会計年度末比５億27百万円増）となりました。

流動負債の増加（前連結会計年度末比11億47百万円増）は、短期借入金の増加（前連結会計年度末比14億42百万円増）が主な要因であります。

固定負債の減少（前連結会計年度末比６億20百万円減）は、長期借入金の減少（前連結会計年度末比６億64百万円減）が主な要因であります。

（純資産）

純資産合計は、105億69百万円（前連結会計年度末比10億50百万円減）となりました。

これは、配当金の支払、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少（前連結会計年度末比９億97百万円減）が主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、13億75百万円と前連結会計年度末に比べ１億95百万円の減少となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、減価償却費（７億４百万円）、売上債権の減少額（１億95百万円）、たな卸資産の減少額（１億43百万円）等の資金収入がありましたものの、税金等調整前四半期純損失（８億91百万円）、仕入債務の減少額（２億29百万円）等の資金支出により、１億23百万円（前年同四半期は89百万円）の支出となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、当社における貝塚工場の管理棟の建替等による有形固定資産の取得による支出（４億10百万円）等により、６億53百万円（前年同四半期は９億22百万円）の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入金の返済による支出（７億20百万円）、社債の償還による支出（１億５百万円）等の資金支出がありましたものの、短期借入による収入（14億98百万円）等の資金収入により、５億81百万円（前年同四半期は４億69百万円）の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年３月期の連結業績予想につきましては、平成22年11月５日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2.　その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第２四半期連結累計期間の営業損失及び経常損失は、それぞれ3,606千円増加し、税金等調整前四半期純損失は79,828千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は114,433千円であります。

② 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第２四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

該当事項はありません。

3.　四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,714,890	1,710,432
受取手形及び売掛金	4,855,758	5,044,560
商品及び製品	984,797	1,045,574
仕掛品	57,884	77,369
原材料及び貯蔵品	987,148	1,050,089
その他	899,438	860,835
貸倒引当金	△82,527	△87,012
流動資産合計	9,417,389	9,701,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,348,785	5,236,456
機械装置及び運搬具（純額）	5,251,631	5,636,927
土地	9,425,771	9,425,771
その他（純額）	446,876	363,889
有形固定資産合計	20,473,064	20,663,044
無形固定資産	34,480	35,870
投資その他の資産		
投資有価証券	865,543	933,390
その他	1,395,799	1,380,682
貸倒引当金	△28,088	△36,659
投資その他の資産合計	2,233,254	2,277,413
固定資産合計	22,740,799	22,976,329
繰延資産	23,971	27,412
資産合計	32,182,160	32,705,591

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,434,249	3,663,289
短期借入金	10,744,366	9,302,354
未払法人税等	33,844	75,208
賞与引当金	172,507	172,938
その他	1,864,424	1,887,884
流動負債合計	16,249,392	15,101,676
固定負債		
社債	1,755,000	1,860,000
長期借入金	2,035,543	2,699,545
退職給付引当金	856,562	806,164
役員退職慰労引当金	108,145	100,710
負ののれん	14,882	15,539
資産除去債務	115,651	－
その他	477,966	502,055
固定負債合計	5,363,752	5,984,015
負債合計	21,613,144	21,085,691
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,743,200	3,743,200
資本剰余金	4,518,200	4,518,200
利益剰余金	2,318,383	3,315,743
自己株式	△18,231	△18,231
株主資本合計	10,561,552	11,558,912
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,463	60,986
評価・換算差額等合計	7,463	60,986
純資産合計	10,569,016	11,619,899
負債純資産合計	32,182,160	32,705,591

(2) 四半期連結損益計算書

【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
売上高	12,095,563	12,182,856
売上原価	8,688,476	8,620,194
売上総利益	3,407,086	3,562,661
販売費及び一般管理費	3,956,089	4,233,605
営業損失（△）	△549,002	△670,944
営業外収益		
受取利息	5,506	3,889
受取配当金	12,804	13,968
受取賃貸料	86,166	14,004
その他	43,318	27,255
営業外収益合計	147,795	59,118
営業外費用		
支払利息	102,490	88,531
減価償却費	－	49,338
その他	154,712	51,591
営業外費用合計	257,203	189,460
経常損失（△）	△658,410	△801,285
特別利益		
固定資産売却益	10,309	－
投資有価証券売却益	4,847	－
貸倒引当金戻入額	－	5,047
特別利益合計	15,156	5,047
特別損失		
固定資産売却損	46	73
固定資産除却損	16,186	8,032
固定資産臨時償却費	12,000	－
投資有価証券評価損	10,382	10,814
ゴルフ会員権評価損	1,894	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	76,221
その他	－	2
特別損失合計	40,509	95,143
税金等調整前四半期純損失（△）	△683,762	△891,382
法人税等	△231,720	35,466
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△926,849
四半期純損失（△）	△452,042	△926,849

【第２四半期連結会計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結会計期間 （自　平成21年７月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年９月30日）
売上高	6,428,470	6,416,635
売上原価	4,572,666	4,398,891
売上総利益	1,855,804	2,017,743
販売費及び一般管理費	2,057,646	2,208,519
営業損失（△）	△201,842	△190,775
営業外収益		
受取利息	2,966	2,216
受取配当金	1,492	1,989
受取賃貸料	43,446	6,503
受取手数料	－	4,645
助成金収入	23,205	－
その他	12,089	7,197
営業外収益合計	83,200	22,553
営業外費用		
支払利息	51,738	44,616
減価償却費	－	24,669
その他	80,601	26,622
営業外費用合計	132,340	95,907
経常損失（△）	△250,982	△264,129
特別利益		
固定資産売却益	10,261	－
投資有価証券売却益	4,847	－
投資有価証券評価損戻入益	－	2,449
特別利益合計	15,108	2,449
特別損失		
固定資産除却損	15,500	8,032
固定資産臨時償却費	12,000	－
投資有価証券評価損	400	－
ゴルフ会員権評価損	1,894	－
特別損失合計	29,794	8,032
税金等調整前四半期純損失（△）	△265,668	△269,713
法人税等	△88,663	6,589
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△276,302
四半期純損失（△）	△177,005	△276,302

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△683,762	△891,382
減価償却費	729,431	704,837
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5,605	△12,928
賞与引当金の増減額（△は減少）	△43,531	△430
退職給付引当金の増減額（△は減少）	40,830	50,397
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,084	7,435
受取利息及び受取配当金	△18,311	△17,858
支払利息	102,490	88,531
固定資産除売却損益（△は益）	5,923	8,106
固定資産臨時償却費	12,000	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△4,847	－
投資有価証券評価損益（△は益）	10,382	－
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	－	10,816
ゴルフ会員権評価損	1,894	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	76,221
売上債権の増減額（△は増加）	593,293	195,395
たな卸資産の増減額（△は増加）	169,721	143,202
仕入債務の増減額（△は減少）	△727,169	△229,040
未払消費税等の増減額（△は減少）	△1,574	△52,367
その他の資産の増減額（△は増加）	△17,337	△53,081
その他の負債の増減額（△は減少）	△164,979	△37,868
小計	14,144	△10,013
利息及び配当金の受取額	18,237	16,858
利息の支払額	△107,492	△88,339
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△14,178	△41,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	△89,289	△123,322
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,166	△205,091
定期預金の払戻による収入	10,159	5,089
有形固定資産の取得による支出	△760,218	△410,364
有形固定資産の売却による収入	53,289	20
投資有価証券の取得による支出	△18,643	△28,524
投資有価証券の売却による収入	17,907	1,792
子会社株式の取得による支出	△7,000	△5,000
貸付けによる支出	△223,030	△40,330
貸付金の回収による収入	15,430	28,800
その他	△345	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△922,617	△653,609

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△401,319	1,498,093
長期借入れによる収入	970,000	－
長期借入金の返済による支出	△637,693	△720,084
社債の発行による収入	792,285	－
社債の償還による支出	△105,000	△105,000
配当金の支払額	△128,591	△70,410
その他	△20,515	△21,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	469,166	581,387
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△542,740	△195,544
現金及び現金同等物の期首残高	2,107,928	1,570,848
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,565,188	1,375,303

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日）

当連結グループは、石膏ボードを中心とした建築材料を製造販売しており、製品の種類、販売市場等の類似性から判断して、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日）

当連結グループは、海外拠点が存在しないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第２四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日）

当連結グループは、海外売上高が連結売上高の10％未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

当グループの事業は、石膏ボードを中心とする建築内装材料の製造、販売を主に、これらに付帯する一切の事業を行っている単一事業であります。

したがいまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

該当事項はありません。